

W-5-2

ウズベク語における時間的連続を表す節連結について

日高 晋介

(国立国語研究所プロジェクト非常勤研究員)

0. はじめに

本発表では、まず Dixon (2009) による節連結の意味的分類に従って、ウズベク語 (チュルク諸語南東語群) の節連結に用いられる形式を整理する。ウズベク語では、形動詞あるいは動名詞を用いた節連結が最もよく見られる。その他、副動詞を用いたもの、少数ではあるが、接続詞、条件形 *V-sa*、並置を用いたものも見られる。

次に、「時間的連続」を表す節連結が「条件」も表すのかという問題について論じる。Dixon (2009: 14) は、多くの言語で「相対的時間」を表す ‘when’ 節と条件節には密接な関わりがあると述べている。しかし、「時間的連続」と「条件」の関連については何も指摘されていない。他方、ウズベク語の先行研究では「時間的連続」を表す形式は *V-(i)sh bilan*、*V-(i)b*、*V-gach* とされており、それらの用例には「条件」とも捉えられる用例がある。

そこで、本発表では、母語話者への聞き取り調査を行うことで、ウズベク語の「時間的連続」と「条件」の関連性について明らかにする。調査結果から、Dixon (2009: 14) で指摘されているように、ウズベク語でも「相対的時間」と「条件」に密接な関わりがあることを検証した。考察では、Dixon (2009) でもウズベク語の先行研究でも述べられていない、「時間的連続」と「条件」の連続性に焦点を当て、「時間的連続」を表す形式を用いる際には①前件の成立が前提とされること、②前件と後件に時間的な前後関係が必要とされることを明らかにした。つまり、①かつ②の条件が揃ったときのみ、「時間的連続」を表す形式を用いて「条件」を表すことができる。したがって、今回調査した「時間的連続」と「条件」との関連は、Dixon (2009: 14) によって指摘された「相対的時間」と「条件」の関連よりも限定的であると結論付ける。

1. ウズベク語における節連結形式

本節では、ウズベク語における節連結の諸形式を Dixon (2009) に基づいて分類する。下記の表 1 に、意味と形式の対応一覧を挙げる。これらの形式は、先行研究の用例中および発表者の調査から得られた用例中で見られた形式である。なお、2 節以降で問題とする諸形式には太字を付す。

表 1: ウズベク語の節連結における意味と形式の対応一覧

		形動詞／動名詞 (+後置詞／名詞)	副動詞	接続詞	左記 以外
ۋ ۋ ۋ	Is: 時間的連続 「して、」	<i>V-(i)sh bilan</i> [V-VN with]	<i>V-(i)b</i> <i>V-gach</i>		
	Ir: 相対的時間	<i>V-(i)sh-dan ilgari</i> 「する前」 [V-VN-ABL before] <i>V-gan-dan so'ng</i> 「した後」 [V-PTCP.PAST-ABL after] <i>V-gan-da</i> 「した時」 [V-PTCP.PAST-LOC] <i>V-(a)yotgan-da</i> 「している時」 [V-PTCP.PRS-LOC] <i>V-gan-dan beri</i> 「して以来」 [V-PTCP.PAST-ABL since]	<i>V-guncha</i> 「～まで」		
	Ic: 条件	<i>V-gan-da</i>			<i>V-sa</i> [V-COND]

II: 帰結	IIc: 原因 「ので、」	<i>V-(i)sh uchun</i> [V-VN for] <i>V-gan uchun</i> [V-PTCP.PAST for]	<i>V-(i)b</i>		
	IIr: 結果 「した結果、」	<i>V-(i)sh natija-si-da/oqibat-i-da</i> [V-VN result-3.POSS-LOC]			
	IIp: 目的 「ために、」	<i>V-(i)sh uchun</i> [V-VN for] <i>V-(i)sh-ga</i> [V-VN-DAT]	<i>V-gani,</i> <i>V-gali</i>		
III: 潜在的帰結 「しないように、」	<i>V-maslik uchun</i> [V-VN.NEG for]				
IV: 追加	IVu: 順不同 の追加				並置、 第二文の主語 の後 <i>esa</i> [TOP]
	IVs: 同じ出来事 の追加		<i>V-(i)b</i>		
	IVe: 精緻化		<i>V-(i)b</i>		並置
	IVc: 対比 「けれども、」	<i>V-gan bilan</i> [V-PTCP.PAST with]		<i>ammo</i> <i>/biroq/lekin</i>	
V: 代替	Vd: 離接 「、それとも」			<i>yo/yoki</i>	
	Vr: 拒絶 「代わりに」	<i>V-(i)sh evaz-i-ga</i> [V-VN compensation-3.POSS-DAT]			
	Vs: 提案 「するよりも」	<i>V-gan-cha</i> [V-PTCP.PAST-ADVLZ]	終点 <i>V-guncha</i>		
VI: 様態	VIr: 現実 の様態	<i>V-gan-day/-gek, V-gan-simon</i> [V-PTCP.PAST-1PL.POSS-like]			
	VIh: 仮説的様態	<i>V-gan kabi/singari</i> [V-PTCP.PAST-1PL.POSS like]			

表 1 に示したように、Dixon (2009) に基づいてウズベク語の節連結を整理すると、形動詞あるいは動名詞を用いた節連結が最もよく見られる。その他、副動詞を用いたもの、少数ではあるが、接続詞、条件形 *V-sa*、並置を用いたものも見られる。

2. ウズベク語における「時間的連続」を表す形式

Dixon (2009: 14) は、多くの言語で「相対的時間」を表す ‘when’ 節と条件節には密接な関わりがあると述べている。しかし、「時間的連続」と「条件」の関連については何も指摘していない。他方、ウズベク語の先行研究では「時間的連続」を表す形式は *V-(i)sh bilan*、*V-(i)b*、*V-gach* とされており、それらの用例の中には「条件」とも捉えられる用例がある。それぞれの用法と用例を下記に挙げる。

まず、*V-(i)sh bilan* について述べる。この形式は、動名詞 *V-(i)sh* で表される動作の直後に主節による動作が行われること、もしくは同時に主節の動作が行われることを表す (Kononov 1960: 299-300, Bodrogligeti 2003: 266)。なお、(1) における前件の訳は、Kononov (1960: 300) によるロシア語訳 (C наступлением весны || Как только || Лишь только || Когда наступила весна,...) に対応している。

(1) *Ko'klam kel-ish-i bilan butun daraxt-lar uyg'on-di-ø.*

spring come-VN-3.POSS with all tree-PL wake.up-PAST-3

「春の訪れとともに/春が来るとすぐに/春が来るとすぐに/春が来ると、全ての木が目覚めた。」

(Kononov 1960: 300)

次に、副動詞 (*V-(i)b*、*V-gach*) について述べる。どちらとも継起的な意味を表すが、*V-gach* は従属節事態と主節事態の同時性、あるいは従属節事態が主節事態を引き起こしたことを表す (Kononov 1960: 243, Bodrogligeti 2003: 606)。

- (2) *Ular yana yarim soat ishla-b, ketman-lar-i-ni yelka-ga qo'y-ib,*
 they again half time work-CVB.SEQ hoe-PL-3.POSS-ACC shoulder-DAT put-CVB.SEQ
paxtazor-dan qayt-ish-di-ø.
 cotton.farm-ABL return-RECP-PAST-3

「彼らはもう半時間働いて、自分の鍬を肩に担いで、綿花農場から帰った。」(Kononov 1960: 241)

- (3) *Samolyot Amudaryo-ga kel-gach, bort-dagi sun'iy muz eri-y*
 air.plane NAME-DAT come-CVB.SEQ board-ADJLZ artificial ice melt-CVB.CNT
boshla-di-ø.
 start-PAST-3

「飛行機がアム川に来るとすぐに、機上の人工的な氷が溶け始めた。」(Bodrogligeti 2003: 606)

先行研究の記述からはいずれの形式も「時間的連続」を表すことがわかる。用例を検討すると、特に(1)の *V-(i)sh bilan* が含まれる節は「春が来る」ことが主節の事態が起こる条件と解釈できるため、「時間的連続」を表す形式によって「条件」を表していると言える。しかし、Dixon (2009) もウズベク語の先行研究 (Kononov 1960, Bodrogligeti 2003) でも「時間的連続」と「条件」の関連性については特に言及していない。そこで、本発表では、「時間的連続」を表す形式がどのような「条件」を表すことができるのかという視点で調査を行い、ウズベク語における「時間的連続」と「条件」の関連性を明らかにする。

3. インフォーマント調査

まず、本発表の調査に関わる風間 (2017) と内藤 (2019) を概観する。

風間 (2017) は、アルタイ型言語 (トルコ語、モンゴル語ハルハ方言、朝鮮語) における条件と継起 (本発表で言う「時間的連続」) の連続性について、表 2 に挙げた 14 文を用いて調査を行った。その調査結果から、アルタイ型言語においては、条件的な用法と時間節的用法を併せ持つ形式は理由の文や後件に無意志動詞が来る文などにおいて、継起を示す形式との意味的連続性を示す (例えば「兄が {怒ると/怒ったら/怒って} 妹が泣きだした」「昨日の晩は疲れて横に {なったら/なると/なっ て} 寝てしまった」など)、と考察している。

内藤 (2019) は、後置詞 *bilan* [with] を用いた従属節、*V-(i)sh bilan* と *V-gan bilan* (「対比」を表す) の使用条件について考察している。その中のインフォーマント調査の一つで、ウズベク語母語話者に風間 (2017: 43-44) の調査に用いられた 14 文 (表 2 の [1]-[14]¹) をウズベク語に翻訳してもらってから、*V-(i)sh bilan*、*V-gan bilan*、*V-(i)b*、*V-gan-da*、*V-sa* のいずれが用いられるかについて尋ねている。

本発表では、内藤 (2019) の調査で用いられたウズベク語の文を用いて選択式調査を行うが、*V-gan bilan* は「対比」を表すため選択肢には入れない。他方、*V-gach* については、内藤 (2019) で選択肢として挙げられていないため、本研究での調査では選択肢として *V-gach* を追加する。

本研究の調査では、各動詞形式 (表 2 最上部の 5 つ) について、ウズベク語母語話者 1 名 (1989 年生、男性、タシケント市出身) に、○「問題なく使える」、△「少し違和感があるが使える」、×「使えない」のうち一つを選んで回答してもらった。表 2 に調査結果の一覧を挙げる。その後、特に次節以降で言及する「時間的連続」を表す形式の使用条件に関して、①調査文の後件書き換えによる追加の

¹ 風間 (2017) では、調査に用いた文でデフォルトとする形式に太字・下線が付され、下記[1]のように条件形式も継起形式も上げられている。ただし、本発表では、風間 (2017) がデフォルトとした形式のみ挙げる。

[1] お金が {あれば/あったら/あると/あって}、あの車を買うんだけどなあ。

聞き取り調査と、②発表者の作例に基づく許容度調査を行った。なお、表 2 中の○を含むセルは薄茶色で、次節以降で言及するセルは黄色で、それぞれ塗りつぶす。

表 2: 継起と条件に関する調査結果一覧

例文 [機能]	形式	時間的連続			相対的時間・条件 <i>V-gan-da</i>	条件 <i>V-sa</i>
		<i>V-(i)sh bilan</i>	<i>V-(i) b</i>	<i>V-gach</i>		
[1] お金が{あれば/あったら}、あの車を買うんだけどなあ。 [反実仮想]		△	×	×	○	○
[2] 明日雨が{降れば/降ったら}、私はそこに行かない。 [仮説条件]		×	×	×	△	○
[3] 駅に着いたら、電話してください。 [仮説条件+主節の有標なモダリティ (命令)]		○	○	○	○	○
[4] ここでは夏になると、よく雨が降る。[恒常条件]		○	△	○	○	○
[5] 箱を{開けると/開けたら}、中にハンカチが入っていた。 [事実条件]		×	×	×	△	○
[6] その料理を食べてみたら、おいしかった。 [事実条件・人称制限述語]		△	×	×	○	○
[7] 兄が怒ると/怒ったら、妹が泣き出した。[原因・異主語]		○	×	○	○	○
[8] 風邪をひいて、仕事を休んだ。[原因・同主語]		○	○	○	○	×
[9] 音楽を聞いていたら、人が来た。[継続中生起・異主語]		△	×	×	○	△
[10] 私{は/が}部屋に{入って/入ると}ドアに鍵をかけた。 [継起的行為・1人称主語]		○	○	○	○	×
[11] 昨日の晩は疲れて、横になると寝てしまった。 [継起的行為・1人称主語・後件無意志]		○	○	△	○	△
[12] ボール{は/が}ころがって池に落ちた。 [継起的事象・無生物主語]		○	○	△	△	×
[13] 冷蔵庫を開けて、ビールを取り出した。 [継起的行為・同一主語]		○	○	△	○	×
[14] 袋から出して、それを食べる。 [継起的行為・主節の有標なモダリティ (命令)]		△	×	△	×	△

まず、調査文の許容度調査の結果 (表 2) から明らかになったことを二点述べる。

一つ目は、「反実仮想」「仮説条件」「事実条件」では、条件 *V-sa* と相対的時間・条件 *V-gan-da* が両方も用いられうることである。これは、Dixon (2009: 14) による「多くの言語で「相対的時間」を表す‘when’節と条件節には密接な関わりがある」という見解とも一致する (ただし、[2] [仮説条件] と [5] [事実条件] では、相対的時間・条件 *V-gan-da* の許容度は低い)。

二つ目は、「時間的連続」を表す形式と「相対的時間・条件」を表す *V-gan-da* とは、たいてい同じ機能で用いられるように見えるが、[1] [反実仮想]、[2] [仮説条件]、[5] [事実条件]、[6] [事実条件・人称制限述語] (黄色で図示) では、「時間的連続」を表す形式は用いられないということである。

4. 考察と結論

まず、[1] [反実仮想]、[2] [仮説条件]、[5] [事実条件]、[6] [事実条件・人称制限述語] (表 2 で黄色で図示) について考察し、ウズベク語の「時間的連続」を表す形式は、前件が成立する場合かつ動作

の時間的前後関係がある場合に用いられ、この前提を外れて「条件」を表すことはできないことを示す。なお、例文中の * は表 2 の×「使えない」に、? は△「少し違和感があるが使える」に対応している。

まず、[1] [反実仮想] と [2] [仮説条件] について述べる。これらの「条件」では、「時間的連続」を表す形式は許容されないか許容度が低い。

[1] *Pul-im* *{?bo'l-ish-i* *bilan/*bo'l-ib/*bo'l-gach}* *ana* *u* *mashina-ni*
 money-1SG.POSS be-VN-3.POSS with/be-CVB.SEQ/be-CVB.SEQ exactly that car-ACC
sot-ib *ol-ar=di-m.*
 sell-CVB.SEQ take-PTCP.FUT=PAST-1SG

「お金が{?あると/*あって/*あって}、あの車を買うんだけどなあ。」

[2] *Ertaga* *yomg'ir* *{*yog'-ish-i* *bilan/*yog'-ib/*yoq-qach}* *u* *yer-ga*
 tomorrow rain rain-VN-3.POSS with/rain-CVB.SEQ/rain-CVB.SEQ that place-DAT
bor-ma-y=man.
 go-NEG-NPST=1SG

「明日雨が{*降ると/*降って/*降って}、私はそこに行かない。」

[1] [反実仮想] では前件は現実に成立しておらず、[2] [仮説条件] では前件が必ず成立するとは限らない。したがって「時間的連続」を表す形式は前件の成立を前提としていると言える。

次に、[5] 「事実条件」について述べる。[5] では「時間的連続」を表す形式は許容されない。

[5] *Quti-ni* *{*och-ish-im* *bilan/*och-ib/*och-gach}* *ich-i-da*
 box-ACC open-VN-1SG.POSS with/open-CVB.SEQ/open-CVB.SEQ inside-3.POSS-LOC
dastromol *bor* *edi-ø.*
 handkerchief existence PAST-3

「箱を{*開けると/*開けて/*開けて}、中にハンカチが入っていた。」

しかし、母語話者から、後件を次の下線部のように変えれば、「時間的連続」を表す形式も用いられるとの指摘を得た (内藤 2019: 198 でも同様の指摘がある)。

[5]' *Quti-ni* *{och-ish-im* *bilan/och-ib/och-gach}* *ich-i-da*
 box-ACC open-VN-1SG.POSS with/open-CVB.SEQ/open-CVB.SEQ inside-3.POSS-LOC
dastromol-ni *ko'r-di-m.*
 handkerchief-ACC see-PAST-1SG

「私は箱を開けて、その中に (ある) ハンカチを見た。」

[5] では、前件→後件という時間的な前後関係を表しているわけではない。一般的に考えれば、ハンカチは箱を開ける前から箱の中にあっただけであり、箱を開けたことでハンカチが現れたわけではない。このように後件が前件の事態と重なって継続的に起こっている場合は「時間的連続」を表す形式は許容されない。一方、[5]'では、前件「開ける」→後件「見る」というような時間的な前後関係を表しており、「時間的連続」を表す形式が許容される。

[6] の [事実条件・人称制限述語] でも、「時間的連続」を表す形式は許容されない。

[6] *Bu taom-ni ye-b {?ko'r-ish-im bilan/*ko'r-ib/*ko'r-gach} mazali edi-ø.*
 this dish-ACC eat-CVB.SEQ see-VN-1SG.POSS with/see-CVB.SEQ/see-CVB.SEQ tasty PAST-3
 「その料理を{?食べてみると/*食べてみて/*食べてみて}、おいしかった。」

しかし、[5]と同様に、後件を「おいしかったと感じた」とした文は母語話者に許容された。

[6]' *Bu taom-ni ye-b {ko'r-ish-im bilan/ko'r-ib/ko'r-gach} mazali*
 this dish-ACC eat-CVB.SEQ see-VN-1SG.POSS with/see-CVB.SEQ/see-CVB.SEQ tasty
ekanlig-i-ni sez-di-m.
 SUB-3.POSS-ACC feel-PAST-1SG

「その料理を{食べてみると/食べてみて/食べてみて}、おいしいと感じた。」

[6] では、前件→後件という時間的な前後関係を表しているわけではなく、「おいしい」という状態は食べる前から続いている。このような場合は「時間的連続」を表す形式は許容されない。一方、[6]' では、前件「食べてみる」→後件「感じる」という時間的な前後関係を表しているため、「時間的連続」を表す形式が許容される。

ここまでの考察をまとめる。本発表での調査によって、Dixon (2009: 14) で指摘されているように、ウズベク語でも「相対的時間」と「条件」の間に密接な関わりがあることが検証された。本節での考察においては、Dixon (2009) でもウズベク語の先行研究でも述べられていない、「時間的連続」と「条件」の連続性に焦点を当てた。[1] [反実仮想] と [2] [仮説条件] で「時間的連続」の諸形式が許容されなかったことから、「時間的連続」には①前件の成立が前提とされることを、そして [5] [事実条件] と [6] [事実条件・人称制限述語] での追加調査からは②前件と後件に時間的な前後関係が必要とされることを明らかにした。つまり、①かつ②の条件が揃ったときのみ、「時間的連続」を表す形式を用いて「条件」を表すことができる。したがって、今回調査した「時間的連続」と「条件」との関連は、Dixon (2009: 14) によって指摘された「相対的時間」と「条件」の関連よりも限定的であると結論付ける。

略号一覧 (Leipzig Glossing Rules に記載されていないもののみ掲載)

ABL (ablative) 奪格/ ADJLZ (adjectivalizer) 形容詞化/ NAME (proper noun) 固有名詞/ SEQ (sequential) 継起/ SUB (subordinator) 従属節化/ VN (verbal noun) 動名詞

参考文献

- Bodrogligeti, András J. E. (2003) *An academic grammar of Modern Literary Uzbek*. München: Lincom Europa.
- Dixon R. M. W. (2009) The Semantics of Clause Linking in Typological Perspective. Dixon R. M. W. and Alexandra Y. Aikhenvald (eds.) *The Semantics of Clause Linking: A Cross-linguistic Typology*. 1-55. Oxford: Oxford University Press.
- 風間伸次郎 (2017) 「条件と継起の連続性について: 疑似条件形式を中心として」『北方言語研究』7: 35-68.
- Kononov, Andrej N. (1960) *Grammatika sovremennogo uzbekskogo literaturnogo jazyka*. [現代標準ウズベク語文法] Moskva, Leningrad: Izdatel'stvo akademii nauk SSSR.
- 内藤遼 (2019) 「ウズベク語における後置詞 bilan を用いた時を表す従属節について」『思言 東京外国語大学記述言語学論集』15: 195-202.